

# 『アクアロードかしわら』における歩道整備について

アクアロードかしわらは、多くの方が利用している歩道であるが、経年劣化により表面のタイルが損傷（ウキやハガレ）している。また、降雨時には滑りやすくなっている。そのため、通学児童や一般の利用者が安心して安全に利用してもらうために、アクアロードかしわら（上市1丁目から堂島町4番地先まで）のうち、長瀬川左岸側の市道長瀬川西線の延長約1.0kmにおいて、歩道の整備を行う。

## 『アクアロードかしわら』とは

アクアロードかしわらは、長瀬川の環境整備事業として平成9年（1997年）に整備され「生活シーンを彩る地域性豊かなみち、愛着感あふれるみち」として『大阪のみち99選』に選ばれています。また、市の『ウォーキングモデルコース』にも指定されている。

アクアロードかしわらのデザインは、景観の統一感を出すために『築留二番樋』や『旧大阪鉄道亀瀬隧道』に使用されている赤煉瓦をモチーフにしたものと考えられます。

『築留二番樋（つきどめにばんひ）【登録有形文化財】』は、1704年に大和川の付け替えが行われ、旧大和川の跡に造られた用水路（現在の『長瀬川』）へ水を取り込むための樋です。築留二番樋は、明治21年（1888年）にレンガ（イギリス積）に造り変えられましたが、現在も昔と変わらず大和川からの水を長瀬川へと送る大切な役割を果たしており、その赤煉瓦は、歴史の重みを感じます。



築留二番樋



築留二番樋・石碑

## 『アクアロードかしわら』の現状

- ・現況歩道では、所々でタイルが割れていたり、剥がれており、市の職員が補修して対応しています。
- ・雨が降ると、タイルは非常に滑りやすくなっており、転倒の危険があります。



タイルの割れ



タイルの浮き



タイル損傷後の補修跡



目地部付近の損傷及び補修跡

## 『アクアロードかしわら』の歩道整備イメージ

- ・雨が降っても歩きやすい（滑りにくい）舗装にする。
- ・壊れにくい舗装にする。
- ・まちのシンボルとなるような色やデザインが可能な舗装とする。  
※色やデザインについては、地元住民の方々の意見を反映して決定します。



現在の歩道（タイル舗装）



イメージ（第1案）



イメージ（第2案）



イメージ（第3案）



イメージ（第4案）